



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY 2001 : CREATE AWARENESS— TAKE ACTION

「ロータリー2001：意識を喚起し—進んで行動を」

2000～2001年度・国際ロータリーテーマ／フランク・J・デブリン会長

「さわやかに全員参加で行動を」

2000～2001年度・東京新南ロータリークラブテーマ／山下忠治会長

本日の例会 6月1日 第703回例会

ブッフエスタイル例会のため卓話はありません。

本日のロータリーソング「君が代」「奉仕の理想」

本日の演奏 ピアノ 大澤 美紀さん
バッハ作曲「主よ、人の望みの喜びよ」等

先週報告 5月25日 第702回例会

◎慶事披露

誕生日祝い／四分一 勝（5月29日）

◎出席報告

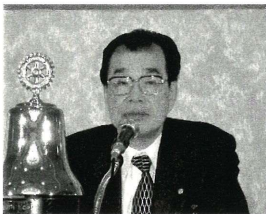
会員69名／出席43名／欠席26名（出席規定免除者6名）
ビジター 5名

第4回クラブセミナー

（2001年5月25日例会）

「身近なロータリー情報」

ロータリー情報委員長 河原 勢自



1. 本年度、ロータリー情報委員会は、クラブ細則がその任務として「会員にローターの歴史、綱領、諸活動について、あらゆるレベルの情報を提供する」と定めていることに則り当クラブ固有の「創立の歴史、理念、重要人物の業績」などを「身近なロータリー情報」と名づけて解説して行くことになった。裸の事実や経緯も当クラブのあり方を判断する上で重要な情報ではないかと考えられる。第一回として新南ロータリークラブの歴史のひとつとして創立にまつわる逸話をお話したい。（以下、時に「南クラブ」、「新南クラブ」と略称する）

2. 当クラブは、名門東京南ロータリークラブをスポンサークラブとして創立された。

南クラブは、創立当初の先輩の人徳、ご努力により紳士の集まるリベラルな考えの風格あるクラブとして現在に至っており、その評価は自他共に認めるものと成っているところである。南クラブと同様の「リベラルで風格のある新しいクラブ」を作ろうという機運が生まれた。南クラブの元会長であった田辺賢三氏は、当時拡大に関する仕事に関係していたが、南クラブのこの意向に賛同し、積極的にこの趣旨を実現するために努力された。その結果、次のような方針がとられたと聞いている。

- ①区域割譲をせず、南クラブと同一の区域を共有する。
- ②その区域には、既に南クラブがあるため、その建物の上

に二階をつけるという二階建てクラブにする。

- ③南クラブと同様の理念、雰囲気等を育成するため志ある7名のメンバーが新クラブに移籍する。
- というものだった。

3. その結果、南の会長までされた田辺賢三氏、その時の幹事中野氏、アンリツの会長であられた田島氏、南で幹事もされた佐藤氏と沖氏、川鍋達朗氏、保科氏の7名が新南に移籍したのである。

4. 南と兄弟のような趣を持った新クラブを創立するという目的のため「二階建て」となり「同一地域の共有」となりその目的に相応しいものとして『新南ロータリークラブ』と名づけられたのである。

新南クラブという名前には、もう一つの意味があった。

狭い特定区域を割譲したのなら、その区域上の地名を用いるが普通であるところ、もっと広い地域からも人材を集めるという意味で特定地域的名称を避けて、南の新しいクラブと云う意味で『新南』とされたのである。

5. 創立間もなく初代会長の田辺賢三氏が当時の第275地区のガバナーに指名された。田辺氏の出身クラブであった南クラブは、田辺氏の成功を願って南に戻ってガバナーになるように進言したと聞いている。これに対して、田辺氏は「私は新南に骨をうずめるつもりで来た。南に戻らないとガバナーが難しいというのならガバナーを辞退しても新南に残る」と確固とした信念を表明された。南クラブは、これを了解して下さり、全面的協力も約束して下さいたのである。田辺氏は、新南クラブの会員としてガバナーになられ地区大会も成功裏に成し遂げられた。地区大会開催については、南クラブから人的にも物的にも絶大なご支援を頂いたのである。

歴史も浅く比較的小さなクラブでありながらガバナーを出し、分区代理を出し、ガバナー補佐を出し、IMの担当クラブともなった当クラブの実績もこうした歴史的経緯あつてのことだったかも知れない。

千代田分区内における東京南ロータリークラブの重さ、当クラブ誕生の経緯等を知った上で、今後の判断を重ねていけば、大筋において間違いのない方針となるのではないと思われる。

6. 上記の経緯は、我々の見聞した範囲のものなので必ずしも細部まで正確ではないかもしれないが、もし誤りがあつた場合はご容赦を願っておきたい。

次週予告 6月8日 第704回例会

卓話予定

「行政が変わる。もしあなたが望むなら」

財務省理財局計画官 村尾 信尚氏

国際ロータリー第2750地区

2001～2002年度地区協議会報告

日時：2001年5月17日（木）10：00～15：30

場所：京王プラザホテル「エミネンス」

ホストクラブ：東京築地ロータリークラブ

全体会議について

次期会長 大日方 真

5月17日（木）京王プラザホテルで地区協議会が開催された。参加者は80クラブ、約900名。当クラブからは10名参加。午前は、全体会議、午後は6つの分科会に分かれて熱心な討議が行なわれた。

全体会議は、加来浩二ガバナーエレクトが『国際協議会報告及び次年度地区運営方針』について次のようなスピーチを行なった。

人の意識や組織に対する考え方は変化しているのに、ロータリアンの思考は硬直化しており、前例だけをよりどころにして活動しているようだ。ロータリアンは積極的に新しい道を歩むパイオニアであって欲しい。ロータリーは、変化を求められている。

次年度RIのキング会長のテーマは「人類が私達の仕事」である。この言葉は、デイクENZのクリスマスキャロルに出ている。人類はいろいろな悩みを持ち、宿命的な苦しみを抱いている。それに力を貸さないでどうする。

ビジネス＝仕事とは、人間本来の任務、天職に連なる役割である。人類の幸福のためにすべきことは沢山ある。それをするのがロータリアンである。

貧困、飢餓、無知、疾病、紛争などの苦しみに真正面から取組む。そのために力が必要であり、全世界くまなく探して、才能や技術を持つ人にロータリーに入ってもらふ努力をしなければならない。これが「ロータリーの全世界での探求」というスローガンである。

ロータリアンは120万人を切っているが、2005年には150万人にすることをRIの理事会で決定している。次年度は「毎月1人の新会員」を目標に会員増強を図る。広域活動も大きな目標のひとつである。あらゆる機会にロータリーの活動を地域に伝え、広めていただきたい。

地区については、組織を簡素化し、機能的に再編成した。マンネリ化している運営を見直して改革したい。そのひとつとして、「ガバナー月信」の全員配布は止めにした。

第1分科会/会長・幹事部会

次期幹事 新保 國彦

佐藤芳丸次期地区幹事（東京築地RC）より、クラブ運営と幹事の責務と役割、年度の引継ぎ、予算、行動計画等の作業等について説明があった。

佐藤次期幹事の要旨はつぎの通り。

- ・RI会長、ガバナーのテーマを推進し理事、役員、委員会と協力し合い、クラブの活性化を図ること。
- ・新会員に対しては、紹介者、情報委員長が理解を進めクラブ内の相互理解のコミュニケーション、融和を図ること。
- ・定款の熟知、地区よりの指示、種々の書式については、速やかに処理を行ない、クラブ会長の協力者として何事も相談し、クラブのために役立つか常に考え、目的をもってクラブ全員と共に行動していく等、具体的な取り組み方について解説があった。

東京新南ロータリークラブ

会長：山下忠治 副会長：加藤昌明 幹事：梶内滋男
事務局：〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL：03-3505-5976 FAX：03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL：03-3505-1111

第2分科会/クラブ奉仕部会 次期クラブ奉仕委員長 清原 元輔

今回のクラブ奉仕部会は、会員増強委員会との連携のもと各クラブより会員増強委員長も加わり約125名の参加で開催された。

次期クラブ奉仕・増強退会防止委員長の本橋浩一氏のリーダー挨拶で開会。司会進行は次期地区副幹事の勝屋俊夫氏で進められ「次年度の最大の活動は会員増強・退会防止である」との主旨説明で、増強委員長にもクラブ奉仕部会に参加してもらったとのことだった。

テーマは4つで、リーダー、サブリーダーから夫々説明があった。

①会員増強・退会防止について

新会員のために教育委員会を設置し新人教育をしているクラブもある。近頃の退会者の中には、経済状況の悪化も影響していると思われる。

②女性委員会活動について

女性会員を多くしたい。2750地区は比較的女性会員が多い。

③拡大活動について

中期的（2～3年）展望の中で拡大について考えて欲しい。

次年度は、3クラブの設立を目指したい。

④ロータリー情報の伝達について

- ・ガバナー月信は次年度、会長幹事のみに配布。出来ればペーパーレスにしたい。現在インターネット配信を検討している。月信の編集機能と情報の伝達機能を統合したい。
- ・インターネット部会の活動について「配信を実施したい」また、「各クラブにインターネット担当者を置いて欲しい」との説明があった。

次に、本橋リーダーから例会出席について「出席することは義務ではなく権利である」と理解して欲しいとの見解が示された。

この後の質疑応答で、リタイアした人の入会を、例えば、シルバーエイジ会員の新設を検討して欲しいとの要望や、5年間の試行期限付きニューモデルについての質問等があった。

～地区協議会の報告は次週号に続きます。～



5月25日/11件30,000円

2000～2001年度累計1,798,000円

多額の御寄付を有難うございました。

渡部一元／一周忌にあたり佐藤定宏さんを偲んで。河原勢自／渡邊治さんが誰かに代わって12時からニコニコされておりますので。本日クラブセミナーをやらせて頂きます。渡邊治／村山さん昨日の大切な会合欠席してすみませんでした。河原さん今日のクラブセミナー楽しみにしております。村山公士／昨日は、社会奉仕委員会では皆様お世話様になりました。市川徹／お手伝いの機会が増えそうです。よろしく願います。山下忠治／先週所用で欠席しました。加藤副会長有り難う御座いました。加藤昌明／暑くなってまいりました。身近なロータリー情報を期待しております。庄司泰典／蒸し暑い時期になりました。梅雨入りも間近です。皆様健康に留意してください。青野信次／本日で週報担当終わりました。皆様のご協力有り難う御座いました。吉田さんご苦勞様です。土屋東一／もう3分前です。あせっています。今日も宜しく。吉田用親／ニコニコ担当忘れていました。誠に申し訳ありません。渡邊治さんピンチヒッター有り難う御座いました。

<会報委員> 下線は、今週の担当

青野 信次、福島 賢哉、石川 泰啓
清原 元輔、本嶋 公民、村山 公士
庄司 泰典、高須 康有、土屋 東一
圓谷 正和、山川 政樹